

[担当教員]

北後明彦(教授) 中江研(准教授) 浅井保(助教)

[Teaching Assistant]

岡実侑(A65) 小島尚久(A65) 山本修大(A65)

■課題とその趣旨

事務所建築(オフィスビル)は、近現代の都市・社会の代表的な建物類型(ビルディング・タイプ)であり、普遍的な性格を持っている。一方で、特に近年の社会的要請の変化や、業態の複雑化・特化に応じて、個性的な性格が個別に要求されることも一般的である。この課題では普遍的かつ個性的なオフィスの計画・設計を求めている。

今回の課題では、次の4つの観点からのアプローチを要求する。

- (1) 場所のコンテキストの解説
- (2) 内部から外部への考察
- (3) 街並み(景観)としての配慮
- (4) 生活空間としての諸室の提案(考察)

さらにこの課題を通じて、建築の空間感覚(特にスケール感など)と図面表現との具体的関係について理解を求める。

■敷地

- ・阪急六甲駅周辺の三か所(A,B,C)の敷地から一つの敷地を各自選ぶ。
- ・敷地面積はいずれも約 600 m<sup>2</sup> (20×30m) 程度であるが、形状と寸法の詳細は適宜想定する。
- ・敷地内の高低差は現状の地形を前提とする。
- ・周辺環境などの計画条件は適宜想定してよい。容積率指定は 200%。

■建築概要

- ・構造規模：鉄筋コンクリート造 3~4 階建てを原則とする。
- ・延べ面積：1,000 ~ 1,200 m<sup>2</sup>
- ・屋外に外来者用の 2~3 台のパーキングスペースを確保すること。



課題敷地

■講評会の様子

[OBゲスト講師]

砂川善(佐藤総合計画, AC8)

小畑香(日建設計, AC13)



キリ撮ル

梅原きよみ

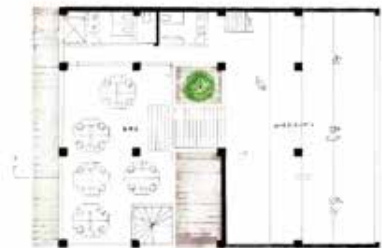
六甲駅近くに建つカメラの事務所。地域に開いた緑豊かなホールやバルコニー・景色のきれいな屋上を設け、訪れた人は各々が「撮りたい」と思う景色を切り取る。また、これらの空間は憩いの場となり、都市の喧騒から切り取られた、おだやかな時間を作り出す。



見景・地域交通空間

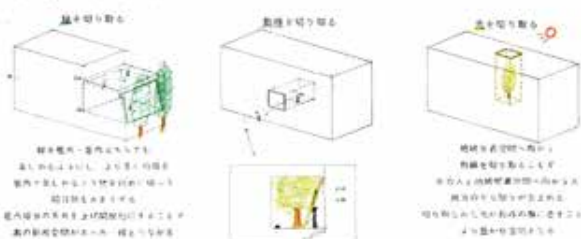


4階後発室



二階平面図

ダイアグラム

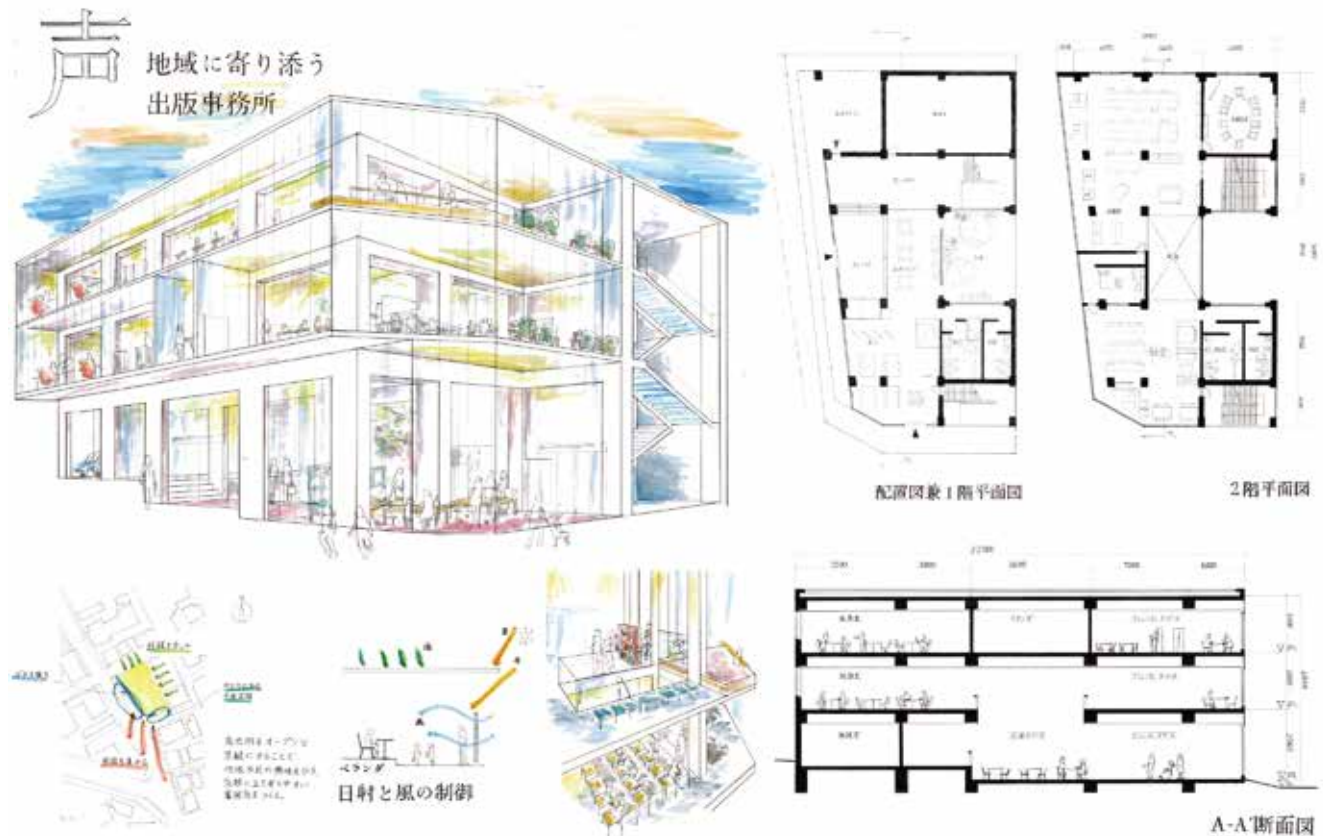


南側断面図

## 声 - 地域に寄り添う出版事務所 -

豊野文子

地域の情報誌を出版する事務所。社員と市民の共有休憩スペース、視線の行き交う吹き抜けなど、社員と市民の交流を促すきっかけを多く設けている。会社が地域活動に積極的に参加することで市民の情報誌への関心が高まり、会社は市民の声に応えやすくなる。



## “繋がり”が生む“繋がり”

力武真由

学生街と住宅街という二面性を持つ六甲の地に立つ、カフェショップを併設した小さな輸入会社の事務所。屋上などの外部空間を広く地域に解放することで、地域住民の繋がりを生む場となる。地域の人々をつなぐ媒介となるような事務所を目指した。

